

平成27年度 第2回学校関係者評価委員会の報告

- 1 日 時 平成27年12月4日(金) 10:30~12:00
2 場 所 加世田高等学校 応接室
3 出席者 地域:加世田中学校長, 金峰中学校長, 大笠中学校長
学校:校長, 教頭, 事務長, 教務主任, 生徒指導主任, 進路指導主任, 保健主任

4 質疑応答

<教育活動について>

委員 通学に関して、学校プレートを導入することにより、単車通学生の事故や違反が減少傾向との事だが、違反にはどのようなものがあるか伺いたい。
→ 遠方からの通学生のスピード違反が何件か発生している。冬休み前には通学生に対して集会を開き、安全指導を行う予定である。

委員 生徒の学力・進路意識の多層化について、芸術系の学部を考えている生徒もいるか伺いたい。
→ 人数的には少ないが、芸術系の学部を志望する生徒もいる。

委員 加世田高校の同窓生(大浦中学校出身)で指揮者として国際的に活躍されている先輩もいらっしやるのでご紹介します。
→ 「本物に触れる夏」として進路指導においても大学の出張講義等を毎年夏に行っているので、是非、同窓会と連絡をとって活かしていきたい。

委員 年2回の防火防災訓練に津波を想定した訓練は行っているのか伺いたい。
→ 火災と地震に対して行っているが、特に津波については実施していない。

委員 加世田高校は高台にあって、津波の心配はないかもしれないが、生徒はどこで地震に遭うか分からないので、津波に対する訓練も行った方がいいとの助言をいただいた。

委員 中学校において、不登校の生徒をもつ保護者は、高校で生活について行くことができるか、また、卒業できるのか不安を抱いている。高校においてはどのような支援体制がとられているのかを伺いたい。
→ 今年度、不登校の生徒は減少しているが、やはり、各学年1, 2名はいる。学校としては委員会を中心に、教育相談係や担任や教科担任そして、スクールカウンセラーとの連携を図り対応している。中には、学校行事を機に、教室への登校が可能になった生徒や卒業して、本人が希望する大学や専門学校へ進学していった例もある。

<学校評価(保護者)について>

委員 「子どもは本校で学ぶことに充実感をもっている」とのアンケート項目に対する回答において、Cの評価の割合が、1学年において高いのが気になる。普通は学年が追う毎に高くなる傾向があると思われるが、どのようなことが要因として考えられるか伺いたい。
→ まだ、生徒のアンケート結果と比較していないので、これから分析し、次回の評価委員会で報告したい。

<生徒募集に関する取組について>

委員 中高連携の一環として、中学校の行事(書き初め大会)等への高校生を派遣(手伝い)してもらえるか伺いたい。
→ 依頼があれば、生徒引率として、職員も派遣できる。

委員 中学校で今年度から始まった土曜授業において、出前授業等の対応はできるか伺いたい。
→ 依頼があれば、対応していきたい。

委員 出前授業に卒業生が来てくれたら中学生にもいい刺激になるのだが、可能か伺いたい。
→ 地区別の説明会も含めて、できるだけ出身中の生徒で対応したい。